

(様式 1-3)

いわき市生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成30年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	68	事業名	震災メモリアル事業		事業番号	A-1-2-4
交付団体		いわき市	事業実施主体 (直接/間接)		いわき市 (直接)	
総交付対象事業費		26,000 (千円)	全体事業費		65,000 (千円)	
事業概要						
<p>「震災メモリアル事業」は、地震、津波に加え、東京電力福島第一原子力発電所（以下原発事故）の事故が重なるという未曾有の複合災害に見舞われた、いわき市の震災経験をあらためて捉えなおし、震災の記憶や教訓を風化させず確実に後世へと伝えていくことにより、危機意識や防災意識の醸成等を図っていくことを目的とした事業である。本事業の中心的な役割として中核拠点施設を整備し、その中には、原発事故の内容や双葉郡等からの長期避難者を受け入れることとなった当時の状況や現在の様子等を展示に取り入れ、いわき市が受けた特徴的な被害について情報発信し、施設に与えられた役割のひとつとして活かしていきたいと考えている。また、長期避難者が地震や津波等に関する学習に利用出来る学習室や長期避難者との交流を図れるスペースの整備についても計画している。よって、これら震災に関連する展示物や長期避難者等の利用促進を考慮したスペース等については、復興庁の「福島再生加速化交付金（長期避難者生活拠点形成）」を活用し、避難者支援事業として中核拠点施設の一部を整備するものである。</p>						
【工事概要】						
○（仮称）震災メモリアル中核拠点施設の整備						
○所在地：いわき市薄磯三丁目11						
○敷地面積 4,232㎡ 総床面積 546㎡ 展示室面積 225㎡						
【関連する復興公営住宅】						
○小名浜下神白地区等						
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
居住制限者の避難の状況との関係						
<p>東京電力福島第一原子力発電所事故により双葉郡8町村を中心に、多くの方々が避難を余儀なくされ、本市では、平成30年1月現在、約2万1千人を受入れている状況にある。</p> <p>長期避難の受入れに関する情報発信のため、或いは長期避難者との交流を図るため、当該施設を利用し、長期避難者と市民との良好な生活環境を維持していくために本施設を整備する。</p>						
【市全体】						
いわき市内への長期避難者数 約21,000人						
復興公営住宅整備戸数（県事業） 1,744戸（予定）						
※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。						
関連する基幹事業						
事業番号	A-1-2					
事業名	災害公営住宅整備事業等					
交付団体	県					
基幹事業との関連性						
<p>復興公営住宅に入居する長期避難者が施設や展示物等を利用し災害等についての学習に活用する。また、地域住民と長期避難者との交流を図る。</p>						